

令和元年8月29日

白河市教育委員会

8月定例会会議録

## 令和元年8月白河市教育委員会定例会会議録

日 時 令和元年8月29日(木)  
開 会 午後2時52分  
閉 会 午後4時48分

場 所 白河市中央公民館 視聴覚室

### 報告事項

- (1) 教育長報告
- (2) 各課所報告

### 議 事

- 議案第35号 白河市教育委員会事務の点検及び評価について
- 議案第36号 専決処分の承認を求めることについて  
(専決第6号 東北中学校区学校支援活動事業地域コーディネーターの委嘱について)
- 議案第37号 専決処分の承認を求めることについて  
(専決第7号 東北中学校区学校支援活動事業本部委員の委嘱について)
- 議案第38号 専決処分の承認を求めることについて  
(専決第8号 東北中学校区学校支援活動事業評価検証委員会委員の委嘱について)
- 議案第39号 専決処分の承認を求めることについて  
(専決第9号 白河市少年センター運営協議会委員の委嘱について)
- 議案第40号 専決処分の承認を求めることについて  
(専決第10号 白河市生涯学習推進会議委員の委嘱について)
- 議案第41号 専決処分の承認を求めることについて  
(専決第11号 白河市男女共同参画推進懇話会委員の委嘱について)

### そ の 他

協議事項 平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査調査結果及び考察について

### ○ 出席委員

教育長 芳賀 祐司      1番委員 金子 英昭      2番委員 永山 均  
3番委員 沼田 鮎美

○ 出席説明員

理事兼教育次長	菊地 浩明	参事兼教育総務課長	水野谷 茂
学校教育課長	根本 秀一	中央公民館長	橋本 薫
図書館主幹兼副館長	中沢 孝之	健康給食推進室長	藤田 和宏
学校教育課主幹兼課長補佐	和知 秀年		
学校教育課課長補佐兼管理係長	松本 英之		
生涯学習スポーツ課スポーツ振興係長	鈴木 隆夫		

○ 書記

教育総務課課長補佐兼総務係長	宮尾 宏樹	教育総務課副主査	佐々木 奈緒美
----------------	-------	----------	---------

## 【午後 2 時 52 分開会】

### ○教育長

これより令和元年白河市教育委員会 8 月定例会を開会いたします。それでは、ただちに本日の会議を開きます。

## 日程第 2 会期の決定

### ○教育長

これより日程に入ります。日程第 2、会期の決定ですが、白河市教育委員会会議規則第 4 条の規定により本日 1 日間といたします。

## 日程第 3 書記の指名

### ○教育長

次に日程第 3、書記の指名を行います。書記には教育長において、宮尾教育総務課課長補佐、佐々木教育総務課副主査を指名します。

## 日程第 4 教育長報告

### ○教育長

次に日程第 4、報告事項に入ります。私から、5 点報告申し上げます。

まず 1 点目ですが、先週の火曜日 20 日から第 2 学期がスタートしました。授業時数の確保等のため、昨年度より夏休みを 5 日間縮減しましたが、本県では一番早い 2 学期始業式となったため、多くのマスコミが特に小学生の様子を報道しておりました。子どもたちには休みを少なくして申し訳なかったのですが、友だちと久しぶりに会って楽しんでいる様子が伺え、ほっとしたところです。また、夏休み中は大きな事故もなく、安全に生活でき安心しました。2 学期のスタートは、不登校など学校への適応がうまくできない子どもの出現が多くなることから、子どもたちの状況をしっかり観察して適切にかかわるよう校長会で指示したところです。

次に 2 点目ですが、8 月 5 日に「いじめ」について考える中学生フォーラム」が行われました。各中学校代表 5～8 名の合計 51 名が集い、各学校での「いじめ防止」の取組について発表した後、「ネットいじめ」についてグループで協議をしました。集まった中学生は、いじめへの対応について考えをしっかりと持っており、また、一般の参加者から質問があり、それに丁寧に応えている中学生の姿に頼もしさを感じたところです。全国では、いじめによる重大事件が発生しており、いじめの問題は簡単には解消しないものという認識のもと、この取組を継続していきたいと思えます。

3 点目は、学力についてです。小学 4 年生から中学 2 年生までの各学年対象の「ふくし

ま学力調査」と小学6年生と中学3年生対象の「全国学力・学習状況調査」いわゆる全国学力テストの結果が届きました。詳しくは後ほど担当よりご説明申し上げますが、8月の校長会議において、結果を分析して指導方法の改善に取り組むよう依頼するとともに、校長先生には特に、学力向上での学校運営体制をテストの結果から見直すようお願いしたところです。学校は、子どもの学力をしっかりと保障する義務を担っています。教育委員会としても、9月に指導主事がすべての学校を訪問し、学力向上の対策について協議し指導する予定です。以上です。

## 日程第5 議事

### ○教育長

次に日程第5、議事に入ります。それでは、はじめに、議案第35号「白河市教育委員会事務の点検及び評価について」を議題とします。内容の説明を求めます。

### ○教育総務課長

議案書1ページをご覧ください。議案第35号「白河市教育委員会事務の点検及び評価について」です。併せて、「令和元年度白河市教育委員会事務の点検及び評価に関する報告書」もご覧いただければと思います。こちらも1ページをご覧ください。まず、点検・評価の位置づけですが、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、全国の教育委員会で毎年、教育に関する事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行うものです。その結果について報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表をすることとなっております。議案第35号につきましては、本日、委員の皆さまにお示ししまして、ご審議いただいた後に議会の9月定例会に提出する予定です。また、点検・評価の対象と方法についてですが、令和元年度の点検及び評価は、昨年度の教育委員会重点施策の5項目及び教育委員会活動の6項目について、21施策の中から29件の主要事業を抽出し、点検・評価を行いました。下の表をご覧ください。教育委員会及び5つの柱の中からそれぞれ中項目で各課が抽出した事業を点検・評価しております。

次に2ページ、学識経験者による意見ですが、点検・評価にあたっては、客観性を確保するため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第2項の規定により、教育に関し学識経験を有する者3名で委員会を組織しまして、点検・評価を実施しております。委員の方については、ご覧のとおりです。7月から8月にかけて3回の委員会を開催しております。午後1時30分から夕方まで、関係各課で説明を行い、評価をしていただきました。第3回の委員会では、委員の皆さまの意見を集約しております。点検・評価シートについては、5ページから34ページまでとなっております。35ページから39ページまでが、白河市事務評価検証委員会の結果となっております。ご審議のほどよろしく願いいたします。

### ○教育長

これより質疑に入ります。ただいまの説明に対し、質疑をお受けいたします。

○永山委員

報告書について何点か伺います。まず、3ページの組織機構・事務分掌についてですが、「教育機関」の中に、コミネスや歴史民俗資料館等とありますが、事務が教育委員会から離れても、組織としてはこのような形となるということによろしいのでしょうか。

○教育総務課長

市の組織の中では教育委員会から離れておりますが、教育関係機関として、文化関係も含めて組織としています。

○永山委員

これは、今後も変わらないということですね。

○教育総務課長

はい、変わりありません。

○永山委員

次に、教育委員会活動について、6ページに評価がありますが、効率性でBとの評価をいただいております。これをAにするためには、今後どのようにしていけばよろしいのでしょうか。

○教育総務課長

定例会は月1回の開催ですので、各課の出来事を全て報告するには時間がありません。ですので、私どもの反省ということになります。

○永山委員

評価の中では、「効率性に努めている」とありますので、それ以外に問題点があったのでしょうか。

○教育総務課長

以前は、それぞれの課長が行事報告や予定を説明していました。それがなくなり、委員の皆さまからの質疑の時間が増えましたので、さらに多くの質疑をいただきたいと思っております。また、私たちの方でも、様々な情報を提供していかなければならないと思っております。

○教育長

様々な意見を提供して、この場で意見をいただきながら、教育委員会の各課での仕事に反映できればと思います。

○沼田委員

4ページの予算状況についてお伺いします。右端に伸び率という項目がありますが、どのように読み取れば良いのでしょうか。プラスだと良いのでしょうか、マイナスだと良いのでしょうか。また、伸び率を記載する意味が分かりませんでしたので、教えてください。

○教育総務課長

予算については、年度により大きな事業があれば増え、そういったものがなければ元に戻るといった形だと思います。

○教育次長

補足しますと、教育総務課長の話のとおり、予算は年度によって開きがあり、例えば、小学校の改築事業が入ると小学校建設費が増えます。ですので、一概に比較できないところがあります。

○沼田委員

確かに新しい建物ができれば予算は増えますし、そういった点は分かるのですが、そうになると伸び率を示す必要はあるのでしょうか。増えても減ってもその年の事業によるものなので、伸び率を出す必要はないのではないのかと思いました。

それから、もう1点よろしいでしょうか。27ページの取組内容の「くすのきしげのり」と達成状況に記載の「すずきしげのり」さんは同一人物なのでしょうか。それとも別の方が講演されたということなのでしょうか。

○図書館副館長

同一人物です。どちらが正しいのか、ただいま確認いたします。お一人の方に依頼をしております。

○教育次長

先ほどの伸び率ですが、先ほどもお話したとおり、予算は年度により異なるものですので、伸び率を記載するのはふさわしくないと思います。

○教育総務課長

「くすのきしげのり」氏が正しいようですね。

○図書館副館長

はい。

○教育長

では、そのように修正してください。他にございますか。

### ○金子委員

全体的に見ると、高い評価を得ているという印象が強くあるので、B や C の評価があると目に止まります。それらを中心にお話したいと思います。まず、20ページの「ガンバルしらかわ人奨学金支給事業」についてです。これは子どもにとって大変役立つものだと思うのですが、達成状況に対する考察で、「給付対象者数が定員を下回る状況が続いている」「給付要件の見直しについても検討する余地があると考える」という記載があり、効率性がBとなっています。今後の対応としては、どのようにお考えでしょうか。

### ○教育総務課長

「ガンバルしらかわ人奨学金支給事業」は給付金事業で、大学への進学が困難な家庭の子どもへの援助として給付するものです。所得制限があり、その計算方法が複雑なために、該当しないと思ってしまった方がいらっしまったのかもしれませんが、ですので、今年はPRに力を入れようということで予定していたのですが、実は、来年度大学に入学する子どもを対象に、高等教育の無償化という国の制度が始まりました。世帯の収入要件に合う方は、奨学金を含め、入学金や授業料が給付されます。そうしますと、この新しい制度の中に「ガンバルしらかわ人奨学金支給事業」がほぼ含まれてしまいますので、市独自で行うこの事業は要らなくなるのではないかと現在検討中です。

### ○金子委員

良い事業だと思うのですが、国の方でそのような制度があるのであれば、この予算を他の事業で子どもたちに使えば良いと思います。

次に、25ページの生涯学習関係について、全てA評価なのですが、今後の方向性の②を読み、なるほどと思いました。「個人の趣味や教養を充足させるものにとどまることなく、住民や地域が抱える課題（例えば、少子高齢化、地域連帯の希薄化、防災・減災、等々）に対し、学び実践できる教室の開設も検討していく」ということで、必要性が高いのではないかと思います。具体的な動きとしてはどのような状況なのでしょう。

### ○中央公民館長

公民館の主催教室は、毎年このような形で募集をしております。社会教育指導員が自ら住民のニーズにあった教室を開催しているのですが、中央公民館は3年サイクルで教室の更新をしています。その時々住民のニーズに合った、社会に上手くマッチしたそういった教室が開催できるかどうか、少子高齢化、防災・減災、こういった内容を教室の1コマにメニューとして取り入れられるかどうか、これから来年度の事業計画をしていく上で、そのような視点で計画していきたいと思っております。今後、検討してまいります。



### ○金子委員

いざという時に役立つ内容だと思いますので、新しい形で生まれればなと思っております。それから、3点目、31ページのしらかわ駅伝競走大会についてですが、評価項目を見ますと、効率性がCになっています。ほとんどがA評価、それにB評価が少しある状況で、Cの評価というのは今後の課題になるかと思えます。「大会開催に要する費用と地域への経済効果において効率性が高いものとは言いがたい」とあり、今後の方向性を見ると、「宿泊施設等の減少」が1つの原因として挙げられております。この辺りの改善の道筋はつけられているのでしょうか。

### ○生涯学習スポーツ課スポーツ振興係長

しらかわ駅伝競走大会につきましては、市にとってはなかなかメリットが出てこないものでして、今回は178チームがエントリーされました。そのチームに宿泊等していただくのですが、市内の宿泊施設が少ないということで、西郷村等、周辺地域の宿泊施設へ流れていってしまい、市になかなかお金を落としてもらえない状況です。また、参加者は高校生が多いので、一般の方だと終了後に観光をしたり経済効果が生まれるのだと思うのですが、学生ですと大会終了後はそのまま帰ってしまうので、なかなか経済効果が生まれません。対策として、大会当日、5店舗に出店をお願いし、観光のPRもしながらお店を出すということを今回から行うところです。

### ○金子委員

宿泊希望者は多くいるけれども、市内に宿泊施設がないために近隣に流れるということですか。

### ○生涯学習スポーツ課スポーツ振興係長

そのとおりです。矢吹町であったり、郡山市の宿泊施設を紹介したこともありました。相手方も、ホテルの部屋は1人1部屋という希望があったりするため、こちらでも用意しきれないところがあり、現在は、多くのチームで早くから自分たちで宿泊施設を予約されています。白河の宿泊施設の協会がありますので、基本的には、そちらを紹介して割り振っていただいているのですが、様々なリクエストがあるようです。

### ○金子委員

新白河駅前にはいくつかホテルがありますが、それではまかないきれないのでしょうか。

### ○生涯学習スポーツ課スポーツ振興係長

朝が早いので朝食が食べれない、座敷は避けたい等いろいろ理由があるようです。

○金子委員

先ほどのお話ですと、主催者側で宿泊施設の紹介を行っているということでしょうか。

○生涯学習スポーツ課スポーツ振興係長

そうです。協会にとりまとめをお願いしております。

○金子委員

それは、他のホテルに泊まるより何かメリットはあるのでしょうか。つまり、宿泊費が少し安いだとか、主催者側で宿泊費を統一しているとかそのようなことは行っているのでしょうか。

○生涯学習スポーツ課スポーツ振興係長

宿泊費は統一しております。協会に加入していない大きなホテルは個人的に予約をしていただいておりますが、協会に加入しているところであれば、6千いくらかという値段で統一しております。

○金子委員

他の市町村の大会のノウハウを調べ、白河市でも取り入れられるものがあれば取り入れても良いのではないのでしょうか。

○生涯学習スポーツ課スポーツ振興係長

「しらかわ駅伝」という市の事業ですが、やはり市だけではできないものです。陸上競技の関係者がいて成り立つものですが、そちらの状況も厳しいようです。24回と長く続いてきた大会ではありますが、費用はかかるが経済効果がないということで、市の中でも指摘されており、このまま継続するのか、例えばマラソンのような別の競技に変えるのか、今後の方向性を考えなければならないと思っております。

○金子委員

他の競技で、全国から選手が集まるという大会が白河市にあるのでしょうか。

○生涯学習スポーツ課スポーツ振興係長

ないと思います。現在のところ、この駅伝大会が全国の大会の前哨戦という形で、ちょうど良い時期にあるようです。

○金子委員

そのような大会を無くしてしまうのは、もったいないと私は思うのですが。

○生涯学習スポーツ課スポーツ振興係長

はい、やはり駅伝関係者からは無くしてほしくないという意見が出ております。9月の

この時期にあるのがとても良く、なんとか残してもらいたいとのことです。

#### ○金子委員

でしたら、赤字にならないように、視野を広げて様々な情報を収集し、白河でも出来ることを取り入れてはいかがでしょうか。既におやりになっているとは思いますが、まだそれが実を結んでいない状況ですので、この大会を別の競技に変えて全国から呼び込めれば良いですが、福島県内という狭い範囲ではなく、全国レベルで来ていただいている大会ですから、昨年度も同様のことをお話させていただきましたが、良い方向に進めていただきたいと思います。

#### ○教育次長

補足で説明いたしますと、宿泊施設を急に増やすというわけにはいかないものですので、その他の部分で、例えば観光等で、来ていただいている高校生等にPRをして、少しでも市にお金を落としていただけるような仕掛け作りを考えていかなければならないと思っております。

#### ○金子委員

ありがとうございます。最後にもう1点、35ページについて伺います。これは教育事務評価検証委員会の委員の方々の意見の集約ということですが、(1)教育委員会活動の下から2行目に、「また、PTA連絡協議会など現役の保護者との意見交換も開催できると良い」とあります。この辺りはどうお考えでしょうか。

#### ○教育総務課長

昨年度は実施しなかったのですが、それまでは確かにPTAの会長、副会長の皆さまとの懇談会を行っておりました。

#### ○金子委員

教育事務評価検証委員会の委員にもPTAの関係者が1名いらっしゃるの、あえて意見として出てきているということは、要望として強いものがあるのではないかという印象を受けました。事務局側との考えとはズレがあるのかもしれませんが、あれはあれで良かったと、復活させてほしいという意味ではないかと私は読んだのですが、どうでしょうか。

#### ○教育総務課長

そこまで直接的な話はなかったのですが、このような意見が確かにありました。後は、教育委員の皆さまの意見もお聞きしたいと思います。

#### ○金子委員

私は1度しか出席したことがありませんので、永山委員はどうでしょうか。

#### ○永山委員

私も、1回は都合により欠席しましたので、出席したのは1回です。PTA 会長をしていた時にも出たことはあります。

#### ○教育総務課長

昨年は他に様々なことがあり開催できませんでした。それから、PTA 会長、副会長の皆さまも色々な集まりがありお忙しいので、その辺りも検討材料の1つです。

#### ○永山委員

「白河市幼・小・中・高 PTA の集い」がありますので、そこに私たちが参加するということも可能だと思います。私の会長時代も、色々な集まりがありました。仕事もある上で夜もとなると、なかなか大変なこともあると思います。

#### ○金子委員

PTA の会長さん方が、負担感が強くて懇談会は必要としないというのであれば、私は特に開催しなくても良いと思います。

#### ○永山委員

やはり、1つ案を挙げるとすれば、先ほどの「白河市幼・小・中・高 PTA の集い」等の集まりに混ざるような形であれば、負担増にもならないのではないかと思います。

#### ○沼田委員

学校の状況を教育委員会の方に知ってもらう機会があるというだけで、なんとなく教育関係者が一体化するような気持ちになれるのではないのでしょうか。

#### ○永山委員

会の進め方にもよりますね。私が出た時には、一人ひとり順番に話してそれで終わってしまったり、28年度はテーマが部活動だったので、そうすると小学校よりもどうしても中学校の方が中心になってしまい、グループによってはなかなか活発な意見が出なかったりしましたので、会の進め方は検討いただく必要があると思います。

#### ○教育長

それでは、この場で結論を出すのではなく、9月定例会で議題として、事務局側でもどのようなことが考えられるのか案を出し、改めて協議するというのはどうでしょうか。働き方改革や部活動について PTA 代表の方にお話する機会があっても良いのでは、という思いもあるのですが、何を話すか、ということも検討が必要ですね。委員様方もこのような話し合いをしたいというものがあれば、意見をお願いいたします。

#### ○永山委員

どちらかと言えば、PTA 会長の立場からすると、問題提起をする場があればという思いの方が強いのではないのでしょうか。テーマを決めて部活動だけと絞られてしまうと、普段自分が思っていることを話す機会がありませんので、そういったことをぶつけたいという思いの方が会長としては強いのではないかと思います。

○教育長

それでは、どうでしょうか。そういった意見を次回、協議するというところでよろしいでしょうか。

( 異議なしの声あり )

○金子委員

わたしの方からは以上です。ありがとうございました。

○教育長

これにて質疑を終了いたします。これより、採決いたします。議案第 3 5 号は訂正して可決することにご異議ございませんか。

( 異議なしの声あり )

○教育長

ご異議なしと認めます。よって本案は訂正して可決されました。

次に、議案第 3 6 号「専決処分の承認を求めることについて」を議題とします。それでは、内容の説明を求めます。

○教育総務課長

本来ですと、生涯学習スポーツ課長が説明するわけなのですが、本日出張しておりますので、私が説明いたします。議案第 3 6 号「専決処分の承認を求めることについて」、白河市教育委員会教育長専決規程第 3 条の規定により、別紙のとおり専決処分をしたので、同規程第 4 条の規定により報告し、承認を求めます。3 ページをご覧くださいと思います。専決第 6 号東北中学校区学校支援活動事業地域コーディネーターの委嘱についてです。白河市学校支援活動事業実施要綱第 6 条第 1 項の規定により、次のとおり委嘱する。任期につきましては、平成 3 1 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 3 1 日まで、発令年月日が平成 3 1 年 4 月 1 日となっております。こちらにつきましては、既に 4 月 1 日から東北中学校区内で学校活動支援事業が始まっております。昨年度、今年度の当初予算を説明する際に説明したかとは思いますが、事業の内容を簡単に申しますと、学校と地域の仲介役となる地域コーディネーターの方に、学校と地域の間に入っていた

き、地域の様々な人材からボランティアを募りまして、学校を支援していこうという活動になります。例えば、調理実習や裁縫の手伝い、奉仕活動、学校の環境整備をしていただける方を地域から探して、コーディネートしていくような活動となります。4月1日より委嘱しており、非常に遅くなりましたが、専決処分を行いましたので、ご承認いただければと思います。以上、よろしくお願いいたします。

○教育長

これより質疑に入ります。ただいまの説明に対し、質疑をお受けいたします。

○永山委員

今回任命された方は、どのような方なのでしょうか。

○教育総務課長

元校長先生でして、県の社会教育主事をしており、社会教育関係に長けた方です。地域にお住まいですので、地域の実情も把握しております。

○教育長

よろしいですか。これにて質疑を終了いたします。これより、採決いたします。議案第36号は原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

( 異議なしの声あり )

○教育長

ご異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり承認されました。

次に、議案第37号「専決処分の承認を求めることについて」を議題とします。内容の説明を求めます。

○教育総務課長

それでは、説明を始める前に、資料に訂正がありましたので、差替えをお願いします。これ以降の議案につきましても、生涯学習スポーツ課長の代わりに私が説明いたします。議案第37号も専決処分となっております。東北中学校区学校支援活動事業本部委員の委嘱についてとなっております。白河市学校支援活動事業実施要綱第3条第3項の規定により、次の7名の方に本部委員を委嘱するものです。任期は、令和元年8月26日から令和3年8月25日まで、発令日は令和元年8月26日となっております。この日に本部委員会が開催されております。先ほどの学校支援事業活動について企画していく、協議していただく方々となっております。以上、よろしくお願いいたします。

○教育長

これより質疑に入ります。ただいまの説明に対し、質疑をお受けいたします。

( 質疑なし )

○教育長

それでは、これにて質疑を終了いたします。これより、採決いたします。議案第37号は原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

( 異議なしの声あり )

○教育長

ご異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり承認されました。

次に、議案第38号「専決処分の承認を求めることについて」を議題とします。内容の説明を求めます。

○教育総務課長

それでは、6ページをご覧ください。こちら、専決処分となっております。さきほどと全く同じ名簿となっております。こちらは、東北中学校区学校支援活動事業評価検証委員会委員の委嘱となっております。先ほどと任期も同じ、令和元年8月26日から令和3年8月25日まで、発令年月日も令和元年8月26日となっております。要綱の中で、本部委員と評価検証委員は同じ方になっていただくとされておりますので、こちらもご承認いただきたいと思っております。以上で説明を終わります。

○教育長

これより質疑に入ります。ただいまの説明に対し、質疑をお受けいたします。

( 質疑なし )

○教育長

よろしいですか。それでは、これにて質疑を終了いたします。これより、採決いたします。議案第38号は原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

( 異議なしの声あり )

○教育長

ご異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり承認されました。

続いて、議案第39号「専決処分の承認を求めることについて」を議題とします。内容の説明を求めます。

○教育総務課長

それでは、8ページになります。議案第39号ですが、こちらも同じく専決処分となっております。9ページをご覧ください。専決第9号「白河市少年センター運営協議会委員の委嘱について」になります。白河市少年センター運営協議会委員について、人事異動により委員が欠員となったため、白河市少年センター条例第4条第2項の規定により、次のとおり委嘱するものです。4月から5月の人事異動により6名の方が変更となっております。任期は平成31年4月1日から令和2年7月31日までとなっております。以上で、説明を終了いたします。

○教育長

これより質疑に入ります。ただいまの説明に対し、質疑をお受けいたします。

( 質疑なし )

○教育長

よろしいですか。それでは、これにて質疑を終了いたします。これより、採決いたします。議案第39号は原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

( 異議なしの声あり )

○教育長

ご異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり承認されました。

続いて、議案第40号「専決処分の承認を求めることについて」を議題とします。内容の説明を求めます。

○教育総務課長

議案第40号は10ページになります。こちらも専決処分になります。11ページに専決第10号ということで記載しております。白河市男女共同参画推進懇話会委員の委嘱についてです。こちらも、4月以降の人事異動により変更となった方について、委嘱するものです。白河第三小学校の校長先生、白河文化交流館コミネス事業課長を新たに委嘱します。以上で説明を終わります。

○教育長

これより質疑に入ります。ただいまの説明に対し、質疑をお受けいたします。

( 質疑なし )

○教育長

よろしいですか。これにて質疑を終了いたします。これより、採決いたします。議案第



40号は原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

( 異議なしの声あり )

○教育長

ご異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり承認されました。

次に、議案第41号「専決処分の承認を求めることについて」を議題とします。内容の説明を求めます。

○教育総務課長

議案第41号「専決処分の承認を求めることについて」です。内容につきましては、13ページとなります。こちらも人事異動によりメンバーが変更となっております。昨年度までは表郷小学校の校長先生だったのですが、今年度から五箇小学校の校長先生が懇話会の委員として委嘱されております。以上で説明を終わります。

○教育総務課長

これより質疑に入ります。ただいまの説明に対し、質疑をお受けいたします。

( 質疑なし )

○教育長

よろしいですか。これにて質疑を終了いたします。これより、採決いたします。議案第41号は原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

( 異議なしの声あり )

○教育長

ご異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり承認されました。

## 日程第6 各課所報告

○教育長

次に日程第6、「各課所報告」に入ります。各課所の取り組みや課題など、説明が必要と思われる事案についてご報告いただきますが、報告事項のうち、No.1「令和元年度白河市議会9月定例会提案教育委員会関係補正予算について」及びNo.2「平成31年度ふくしま学力調査の結果について」は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定により非公開として審議したいと思っておりますが、これにご異議ございませんか。

( 異議なしの声あり )

○教育長

ご異議なしと認めます。よって、「令和元年度白河市議会9月定例会提案教育委員会関係補正予算について」及び「平成31年度ふくしま学力調査の結果について」は、非公開として後ほどご報告いただくこととします。それでは、まずは、教育総務課より補足事項をご報告いただきます。教育総務課長、お願いします。

( 教育総務課長より報告 )

○教育長

続きまして、生涯学習スポーツ課の報告事項について、説明をお願いいたします。

( 教育総務課長より下記案件について報告 )

No.	所 属 名	件 名
3	生涯学習スポーツ課	中山義秀文学賞作家「澤田瞳子」講演会

○教育長

これより一般質問に入ります。ただいまの各課所報告並びに本市の教育行政一般に関し、ご質問をお受けいたします。

○永山委員

8月4日の福島民報新聞に、教職員の働き方改革ということで、学校給食費等の徴収について公会計化を推進するという通知が出されたとありましたが、白河市においては今後どのような流れで進んでいくのか教えていただきたいと思えます。

○健康給食推進室長

学校給食費徴収・管理に関するガイドラインということで出たわけですが、教職員の多忙化の解消が1つの理由となっております。今までも何もしていなかったわけではなく、考えてはいたのですが、今後、どのような方法を取るのが良いのか改めて考えなければなりません。ですので、現在取り組んでいるところへ伺い、話を聞いて、研究をしてまいりたいと思えます。やらないというわけではなく、検討していくということになるかと思えます。

○永山委員

この通知により、必ず行わなければならないというわけではないですね。

○健康給食推進室長

はい。ただ、どの学校でも効率的な徴収の仕方が求められることになるかと思えますの

で、勉強していくということです。

○永山委員

白河市としては、今後どうするか検討していくということでしょうか。

○健康給食推進室長

検討というよりも、検討へいく前段階の勉強をするということです。

○永山委員

既に40%近くで公会計化されているということが、私としては驚きでした。学校で徴収しているのが一般的だと思っておりました。また、進展があれば教えてください。以上です。

○教育長

ガイドラインについて、委員の皆さまにも見ていただいた方が良いでしょうね。

○健康給食推進室長

はい。準備したいと思います。

○教育長

公会計化されると歳出歳入として予算化されますので、担当部署も必要となります。そういった意味でも、非常に簡単にはいかないものです。ですので、研究して、公会計化するためにはどのような準備をしていかなければならないのかを明らかにしなければなりません。現在、給食費については、事務の方が携わっている学校が多いですが、それが公会計化されれば市の方で全て集金等行います。例えば、コンビニで振込みできるようにするのか等、様々なことを考えなければなりませんので、容易ではないと思います。やはり、研究していかなければならないと思います。

○永山委員

わかりました。以上です。

○教育長

よろしいですか。他にございますか。

○金子委員

行事報告の2ページ、学校教育課の内容の中で、8月23日のALTの委嘱状交付式について伺います。新しくALTになられた方と契約を更新された方の人数を教えてください。

○学校教育課長

全部で6名になります。4年目が1名、3年目が2名、2年目が2名、今回新しく1名が入りました。

○金子委員

私が現役の頃は、最大で3年という制約があったのですが、現在は無いのでしょうか。

○学校教育課長

制限があったかどうか明確にお答えできなくて申し訳ないのですが、過去には5年という方もいらっしゃいました。

○金子委員

ALTは3年までという決まりが長いことあったのですが、どこかでなくなったのかもしれないですね。

○学校教育課長

ALTについては、勤務評価を行い、次の雇用を考えるようになっております。校長先生方からALTの評価を出していただき、本人の希望と併せて次年度継続するかどうかを検討しています。

○金子委員

もう1点伺います。教職員関係で休職者がいるということが気になりました。これは精神疾患なのでしょうか。

○学校教育課長

股関節の手術を受けて、そのリハビリが長引いたため、病休から休職に切り替わりました。回復の見込みは立っております。

○教育長

よろしいでしょうか。それでは、沼田委員。

○沼田委員

8月27日にコーディネーショントレーニング研修会が開催されたと記載がありますが、対象は先生方でしょうか。先ほどの「白河市教育委員会事務の点検及び評価に関する報告書」の13ページに、コーディネーショントレーニングについて書かれていたのですが、評価項目の効率性がBとなっていましたので、その対策として先生方に研修会が行われたのでしょうか。

○学校教育課長

事務点検・評価の件もあるのですが、コーディネーショントレーニングは幼稚園や保

育園で非常に効果が現れています。また、小学校入学時に落ち着きのなかった子どもが随分落ち着いてきたという報告もあります。ですので、学校教育課で事業化しているため、小中学校には必ず1名参加いただき、幼稚園や保育園にも参加を呼びかけました。50名が参加しております。

○沼田委員

ありがとうございます。

○教育長

よろしいですか。それでは、これにて一般質問を終了いたします。

## 日程第7 その他

○教育長

次に日程第7、その他に入ります。協議事項といたしまして、「平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査調査結果及び考察について」を議題といたします。内容の説明を求めます。

○学校教育課長

1ページに小学校6年生の平均正答率が、県、全国と比較して表となっております。総括にも述べられておりますが、小学生の調査結果については、国語は全国平均を上回り、算数についてはおおむね全国平均と同じでした。2ページには、中学生の表があります。総括ですが、国語は平均を上回り、数学、英語については全国平均を下回りました。傾向としては、指導要領が変わり、主体的で対話的で深い学びを目指して授業の改善に取り組んでおります。そういった授業が展開されるとこのような子どもになるという裏返しをこのテストで測ろうとしています。従来の詰め込み型ではなく、自分の考えを外に出し、伝えられる能力を測定するために、記述式が取り入れられています。これは、この先の、現在の高校2年生が受ける大学のテストにもつながっていくものになりますが、やはり自分の考えをまとめて文章化、筆記のテストなので文章化しかなないのですが、そこに課題があるというのがどの教科も共通して言える結果だったと思います。

4ページからは、質問紙調査についてとなります。白河市では、継続してこの3つの項目についてまとめております。1つ目の、「家で自分で計画を立てて勉強していますか」については、全国に比べて良い結果が出ております。全国を上回りつつ、やはり「していない」という子どももいますので、そういった子どもに目を向けて改善を図っていかうところです。2つ目の、「授業以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」についても、全国と比べると良い結果が出ていることがわかります。特に1時間以上の割合を見ると、全国に比べて高い割合で子どもたちが勉強していることがお分かりいただけるかと思えます。3つ目の「授業以外に、普段（月～金）1日当たりどれくらいの時間、読書しますか」については、白河市は読書のまちと言われても良いほど力

を入れている割には思うような結果が出ていないので、課題として小中ともに取り組んでいこうということになっています。

ここまでが、市全体の傾向についてまとめたもので、7ページ以降が学校ごとの傾向、公表内容となります。お手元にお配りした資料で、平成28年から平成30年までの全国学力・学習状況調査結果についての表があります。このところずっと市内の小中学校の子どもたちは、全国の平均を上回っているわけですが、今回、中学生の数学と英語が全国平均を下回りました。その子どもたちは、表で言いますと一番上の子どもたちになります。小学校6年生の時にこのような結果だった子どもたちで、中学校に上がっても中学校の先生方が気にかけて指導してくださいました。平成28年の小学校6年生の頃の結果を見ますと、全ての教科で全国より下回っていたということになります。それとともに、県よりも下回っていました。そのような状況でしたが、今回、2ページの表を見ていただくとわかるとおり、国語は全国を上回るようになり、数学、英語も全国までは届きませんでしたが、県よりは上回っているということですので、子どもたちの頑張り先生方の指導が効果を上げているということをご理解いただけるかと思います。

結果については、9月2日にホームページ上で公表することとなります。学校の方では市のホームページのリンクを貼り付けるということを考えていますので、9月5日に公表となる予定です。また、保護者には5日までに文書にてお知らせする予定であります。以上、よろしくお願いいたします。

#### ○教育長

ただいまの説明に対し、ご意見などございましたらお受けいたします。

#### ○永山委員

資料を見させていただいての感想なのですが、平均正答率については、小学生も中学生もそこまで心配する内容ではなく、頑張っているのだなと思いました。一方で、学校別の平均正答率比較を見ると、下回っているから上回っているまで5つ項目がありますが、下回っているか上回っているかの両極端で、二極化していると感じました。「下回っている」を「やや下回っている」または「ほぼ同じ」まで上げられれば、平均もまた上がってくるのではないかと思います。それが課題だと感じました。

#### ○学校教育課長

ずっと良い結果が出ている学校もあるのですが、学年によって変わったり、頑張っただけで良くなったりということがありますので、今回の結果はあくまで今年の小学校6年生、中学3年生の結果となります。ただ、これまでに積み重ねていかなければならないものが表れているので、学校には、例えば小学校では6年生でテストを受けるので、5年生だけを大事にするということにならないように、入学時からこれらを見据えて力をつけてほしいという話をしています。

#### ○沼田委員

この冊子というのは、各小中学校に配られるのでしょうか。それとも、市内の全学校の結果が載ったものを配る予定はないのでしょうか。

#### ○学校教育課長

各学校については、自身の学校の結果だけが保護者に通知される予定です。他の学校の結果をご覧になりたい場合は、学校のホームページを見るか、市教育委員会のホームページを見ていただければ、同様のものを見ることができます。

#### ○沼田委員

校長先生方や学校という単位で、1冊お渡しするというのもないのでしょうか。

#### ○学校教育課長

市全体の結果については校長先生方には配付いたします。

#### ○沼田委員

下回っている、上回っているという評価がありますが、下回っているとなった学校は、どのくらい授業以外で勉強をしているのだろうかと興味深く見させていただきました。そして、必ずしも自主学習の時間が長いからといって「上回っている」となっているわけではないことが読み取れました。3時間以上勉強している子どもがいない小学校でも、平均正答率は国語、算数ともに「上回っている」となっていましたので、学校で、家に帰ってからどのような学習をするのか明確な指導をされているために、このような結果が出ているのではないかと考えました。ですので、他の学校ではどのくらいの学習時間で、テストではどのような結果が出ているのかということ把握した方が指導の仕方も変わってくるのではないかと思います。質問いたしました。ありがとうございます。

#### ○金子委員

先ほどの説明で、追跡調査というのは大切だと感じました。平成28年に小学6年生だった子どもたちが中学3年生になっているということで、子どもたちはやはり伸びるのだと感じました。このような視点は大切だと思います。全体的な印象としては、どの教科も記述式が増えているという印象です。この調査が平成19年に始まった時には、教科がABに分かれていて、Bの方が脚光を浴びました。主に活用に関する問題ということで、それまで応用力という用語が私の頭の中では定着していたのですが、応用力ではなく活用力ということで現在まで行ってきたわけです。大学試験がセンター試験から大学入学共通テストに変わり、記述式が増えたということで、今後何年間かは記述式が増えるのではないかと印象を持ちます。採点の量が増えれば増えるほど、マークシート式が増えていったのですが、また少し揺り戻しの昔に戻っていくのかなという印象を受けました。

それから、表現上で気になった点があります。2ページの「国語」の二つ目の丸の3行目に、「複数の根拠を提示することで」とあるのですが、何について複数の根拠を提示するのかと読み取れなかったため、教えて下さい。

○学校教育課長

そうですね。少し分かりづらい表現だと思います。

○金子委員

それから、4ページの「考察」の1つ目の丸に、「児童生徒が」とありますが、それまでは、「児童・生徒」と中黒を入れてありました。5ページも同様に、上の考察の2つ目の丸の2行目に、「児童生徒」とあります。

○学校教育課長

中黒を入れないということで統一してきましたので、統一させたいと思います。ありがとうございました。

○教育長

ありがとうございました。この全国学力・学習状況調査の結果は結果として、それだけが全てではありませんので、これを踏まえて教職員が指導方法を改善し、さらに子どもたちが力をつけられるよう取組みたいと思っております。

それでは、今回のご意見を踏まえた上で、全国学力・学習状況調査調査結果及び考察について、公表することといたしますので、よろしく願いいたします。

○教育長

それでは、残りの報告事項について、報告いただきたいと思いますので、これより非公開といたします。

( 非公開 )

○教育長

それでは、他に、各課の取り組みや課題などについてご意見・ご質問等がありましたらこの場で取り上げたいと思いますが、何かございますでしょうか。

○沼田委員

どこかの地区で、夕方17時に、小学生は家に帰りましょうという放送が流れていました。表郷では、たまに出歩いている子どもを見かけることがあるので、防災無線で同様に流すことが出来たら良いと思い、提案できたらと思います。

○永山委員

大信ではそのような放送があります。おそらく青少年健全育成事業の一貫だったと思うのですが、長期休みの夏休み、冬休み、春休みは、各学校持ち回りで子どもが話した声を録音して流すということをしています。



○**教育総務課長**

各地区に、青少年市民会議というものがあるので、それで実施しているのではないかと思います。表郷ですと、確か毎週水曜日をノーメディアデーとしていますし、今のような提案も出来るのではないかと思います。昔、表郷村では、そのような放送を流していたような記憶もあります。

○**教育長**

青少年健全育成については、各小中学校区にあり、各小学校がその事務局をしていますので、地区の取組として話題にさせていただくのが良いかもしれません。

○**沼田委員**

わかりました。ありがとうございます。

○**教育長**

それでは、全ての日程が終了しましたので、以上で、白河市教育委員会8月定例会を閉会いたします。

【午後4時48分閉会】

以上の記録が正確なことを認め、ここに署名する。

令和元年9月27日

教 育 長

1 番 委 員

2 番 委 員

3 番 委 員